

文科省調査

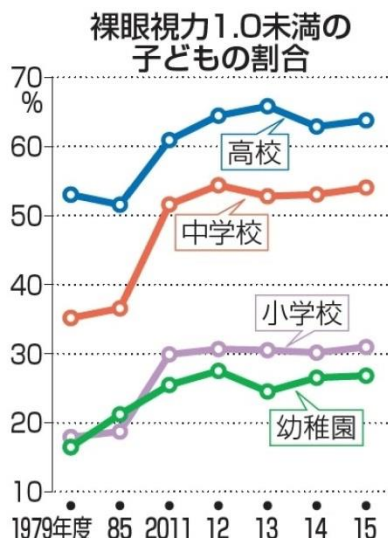
小学生の視力、過去最悪

裸眼視力が1・0未満の子どもの割合は幼稚園26・82%、中学校54・05%、高校63・79%。父母世代に当たる30年前の85年度調査と比べ、約6・17%増加した。

文科省は「スマートフォンやパソコンなど、近頃向見」の割合は減少傾向。特に福島県は改善し、文科省は「おおむね東日本大震災前の数値に戻った」としている。

スマホ、PC影響か

幼稚園から高校まで裸眼視力が1・0未満の子どもの増加傾向で、特に小学生の割合は30・97%と1979年度の調査開始以来、過去最悪となったことが22日、文部科学省の2015年度学校保健統計調査（速報値）で分かった。一方、「肥満した以外はいずれも微減



だった。男子は高1の11・34%、女子は中1の8・36%が最高値だった。福島県では震災以降、運動不足や生活環境の変化で肥満傾向の子どもの増え、都道府県別で出現の項目を追加する。

2016年1月23日 朝刊

①2015年度の裸眼視力1.0未満の子供の割合を書きましょう。

幼稚園児[%] 小学生[%]
中学生[%] 高校生[%]

②視力を悪くしないために注意したいことを書きましょう。

年 組 名前

(小学校中学年以上 保健体育・学級活動、中学校・高校 保健体育)